

平成29年度 第3回佐野市総合教育会議 会議録

○ 日 時 平成30年1月16日(火)
開会 14時30分 閉会 15時14分

○ 会 場 佐野市役所6階大会議室C

○ 出席者 佐野市長 岡部 正英
佐野市教育委員会
教育長 岩上 日出男
教育長職務代理者 寺岡 篤
委 員 栗崎 卓二
委 員 内田 圭子
委 員 駒形 忠晴

(事務局関係)
総合政策部長
教育総務部長
政策調整課長
教育総務課長
学校教育課長
担当職員

○ 傍聴者 3人

○ 協議・調整事項
(1) 佐野市教育大綱について
(2) 教員の働き方改革について
(3) その他

○ 会議の要旨
1 開 会
2 市長あいさつ
3 教育委員会教育長あいさつ
4 協議・調整事項
(1) 佐野市教育大綱について

(事務局説明)

委員： 総合計画と整合性が図られており、分かりやすいものとなっているので良いと思う。

第2次総合計画の推進テーマが「定住促進」となっているが、童謡「ふるさと」の歌詞、志を果たしてから帰るのではなく、志を果たすために地域に残ると若者が思えるために、まちづくりをしていくことが必要。

質の高い教育「義務教育学校の開校」「生涯学習の推進」など、新しい学習指導要領に基づいて、策定中の平成30年の学校教育計画でも「生きる力」がキーポイントとなっている。

委員： 基本方針「生きる力の育成」の格差。

「市立学校の適正規模適正配置」を進めたい。

「いじめの解消」には、家庭教育・地域教育の充実が必要。

市長： 地域が大切な役割を担っているということ。

委員： 「適正規模適正配置の推進」により、市の子どもたちが同じように教育を受けられるように対応していく。

総合計画と同様に、教育大綱においても位置づけた「定住促進」について、学校教育全体を通して郷土愛の醸成などに力を入れていく。

教育長： 「適正規模・適正配置」について、後期計画を早急に見直し、方向性を示していきたい。教育振興計画にも平成30年、31年で策定したい。

(2) 教員の働き方改革について

(事務局説明)

教育長： 補足であるが、注目されているのは、出退勤の際に自動的にパソコンで勤務時間が集計できるという新しい取り組みを始めたことによると思う。今後現場と相談しながら検証していきたい。また、足利市と同步調で進めているので、関係機関とも調整を図っていきたい。

(3) その他

委員： 大綱の中で「奨学金制度の拡充」とあるが、どんな制度か。

事務局： 給付型の奨学金で、今後、検討していく必要があると考えている。

5 その他

(案) についてパブリックコメントを実施し、終了後、再度会議を開催する。

○ 閉 会